

## 令和7年度 第3回文化振興委員会 会議要旨

日時：令和8年2月10日（火）午後2時から  
会場：豊田市民文化会館 会議室 A

### 出席者（敬称略）

委員	清水裕之（委員長）、小出充訓（副委員長）、新原浩美、半田将仁、物部浩子
オブザーバー	豊田彬子（理事長）、藤本聡（専務理事）
事務局	猿谷直記（文化部長） 文化事業課 市民文化会館 原田秀樹（課長）、加藤祐二（副主幹） 山下明男（所長）、梅村陽子（副所長）

### ■議事次第

#### 1 あいさつ及び会の成立 理事長あいさつ

委員長あいさつ

#### 会の成立

事務局から、委員6人中5人の出席があり、本委員会の成立が報告された。

#### 2 前回の委員会会議録の確認 「令和7年度 第2回文化振興委員会 会議録」 会議録の内容に関する意見・異論無し。

#### 3 協議事項

##### （1）令和7年度事業計画視察報告について

##### ①とよた市民アートプロジェクト（文化事業課）

委員 効率的に回れ楽しめた。公募の8人が旧豊田市近代の産業とくらし発見館（以下「発見館」という）でティールームをやっていて、美術に関係ない方で知識を得たいと自発的におこなっていた、とても良いことだ。

喜楽亭、緑陰歩道、発見館、市役所を回らせていただいた。機能的なマップで良かったが、（車で移動すると）駐車場がどこにあるか知りたい。歩く目線で作られていた。お勧め駐車場とか、移動時間などの表示を考えてもらうとなお良い。

年代も60～70代の女性の友達、子ども連れの親子など散歩がてら参加していた。写真を勉強されている若い方など、色々な年代の方々にもっと広く知って欲しい事業であったが、来年は無いということで、残念だ。

委員 来年無くなる理由は何か。

事務局 デカス、市民アート、農村舞台の3事業が、比較的中身が似ていることから、市の共催事業として集約される。

委員 コミュニケーションスペースとは何か。  
事務局 公募の8名が考え、参加した人が交流し、楽しめる工夫をしているスペース。

### ②とよたこども創造劇場（文化事業課）

委員 ホールでの練習を見学した。子どもは、応募して入ってから何十回かの練習（参加費は1回500円程度でとてもお得）で、本格的な舞台となっていた。小学生から中学生まで参加していて、中には学校には行けないが、ここには行けるという子もいる。ここではいい時間を子どもたちが過ごしている。

委員 前日のゲネプロを見学した。まだ知られていないので、もっと多くの人に知ってもらいたい。

35人中、男子が少なく少し寂しい感じがした。

それぞれ子どもの良さを活かした台本になっていた。ミュージカルの様な躍動感があり、観客も巻き込んでみんなで楽しんでいる。

卒業生はその後どうなっているか。費用対効果、実際演劇界で活躍している人はいるのか知りたい。

事務局 実際劇団に入った子もいると聞いている。こども創造劇場は小4～中3まで、その後、高校生以上の演劇ファクトリーに参加が23名、スタッフとして11名が参加している。

委員 市民にどう伝えていくかが課題。参加者の変化を記録に残す、参加者が舞台スタッフになったとか、不登校な子が話せるようになるなどの変化などのエピソードを記録に残せたら良い。

鹿目由紀さんは多文化共生も関わっているので、将来的には外国籍の子の参加を。

事務局 2～3名は父か母が外国人はいる。

委員 練習は普段どこでやっているのか。

事務局 市内の交流館で主に練習している。

### ③文化活動者派遣事業（文化事業課）

委員 若林西小・三味線、畝部小・和太鼓を見学した。

財団のサポートが手厚いと感じた。

三味線は45分という短い時間の中で、子どもが演奏するところまで完結していた。三味線の数が少ないこともあって、待ち時間もあったが、講師に質問し、すぐに答えてもらうことができ、また本物を見るというワクワク感もあった。

太鼓は数が多く、ずっと子どもが叩けたという印象。講師の指導も良く、大変良い活動を見学できた。

委員 声楽の見学をした。楽しい授業であった。時期的に4年生が卒業式の歌の練習を行っていた。授業の最初と最後では驚くほど声が違っていた。学校からの希望で二ズに相應る形で行っていると聞いた。

委員 年間でどれくらい参加しているか、また昨年より増えているか。

事務局 全36校、57プログラム、トータル3,000人超え。増えている。コロナ禍前より増えていて、講師の負担も増えている。

委員 希望されない学校もあるのか。

事務局 先生の希望で申し込みがあるので、先生に付いてくる現状になっている。

#### ④農村舞台アートプロジェクト 2025（文化事業課）

委員 11月8日農村舞台アートプロジェクト 2025 World Roots Culture in fujioka を見学した。

司会が良かった。ただ出演者の紹介だけでなく、出演者のインタビューを交え、外国籍の方が孤立感からコミュニティを作る過程などのエピソードを紹介していた。

文化芸術は、パフォーマンスは勿論だが、稽古を重ねて、日々の自己肯定感を高めて、自分を表現できる場として発表する可能性を感じた。

課題として、会場では2言語で案内していたが、インタビューでは1言語だった。インタビューの同時通訳はできないか。

委員 参加の募集はどのようにおこなったか？

事務局 国際交流協会からの派遣、カールさんを通じて声かけをした。会場での案内は担当職員が英語対応していたが、人員不足で駐車場係も行っていたため、インタビューの同時通訳はできなかった。

#### ⑤つながりリビング事業（市民文化会館）

委員 楽しんで見ていた。ホール内ではなく、オープンな場所になっていて良い。子どももリノリになって踊っていた。演奏レベルも高く、色々な人に見てもらいたい。今後も増えると良い。

～事務局より、本日欠席の委員の所感報告～

（委員：いろいろな参加があり、質の差はどう考えるのか。）

事務局 賑わいを創出する場なので、色々なジャンルがあって、文化会館のスペースを盛り上げて、知ってもらうことが大事。

#### ⑥歳末チャリティ作品展（市民文化会館）

委員 2日目に行ったら、もう売れてしまっていて残り少ない状態だった。

作家の作品をチャリティにするのは良いことだ。力作が揃っていた。実演もあり、フラメンコもおもしろかったが、蛍光灯で衣装の色味と合っていなかったような感じがした。

事務局 予算や場面転換などを考えると、なかなか照明までは難しい。

委員 作家の作品出展の募集方法はどのようにしているか。

事務局 文化団体協議会で、各団体に声かけしている。

#### ⑦げきじょうたんけんツアー 2026（市民文化会館）

委員 子ども向けを見た。職員の手作りのストーリー仕立てで良かった。職員のマンパワーを感じたが、こども創造劇場の子にお手伝いをしてもらっても良いのでは。シール配布など子どもが喜ぶ工夫がされていた。

やれることが決まっていたが、全部の体験ができれば。一般にあまり知られてなくても構わない。インスタを見ている人もまだ少ない。

アンケートにQRコードを入れ込みフォロワー数を増やす工夫をしてみても。

事務局 音響、照明などの班に分けたが、全部一度に体験するには、時間の制限があるので難しい。

(2) 令和7年度事業報告について

- ・市民文化会館事業報告について、事務局から説明する。
- ・文化事業課事業報告について、事務局から説明する。

委員 統合の3事業について、いままでの人脈、ノウハウが途切れないように、つなぎとして何かやる予定はあるのか。

事務局 特にイベントや事業の予定はないが、立ち上げをするには、コアなメンバーも必要なので、実行委員には入っていただく予定。

委員 いろいろな事業をやっていて、バラエティーに富んでいるが、ダンス系が少ないように思う。子どものダンス創造劇場にみたいなものが作れると良い。ダンスをやっている数も多く、人を呼ぶことができる、参加できるダンス系があれば。

委員 「みんなのディスコ」のように、市民参加で障がい者も大人も子どもも、国籍も問わずできるイベントもある。

委員 ひとつひとつの事業は頑張っていることをやっている。ひとつやったことを次のつながりとしてPRできるよう、アウトリーチ、種をまくことが大事。経験し、体験した子の受け皿を次につなげるよう、提案し、きっかけを作り、種をまき続けることが大事。

委員 歳末チャリティも単独でなく、他の人が集まるイベントをぶつけるのも良い。

以上、会議終了

4 その他

(1) 次回の委員会

日時 令和8年5月26日(火) 14時～  
会場 豊田市民文化会館